

# 名事研ニュース

No.167



名古屋市立小中特別支援学校事務研究協議会 <http://meijiken.sakura.ne.jp/>

## あゆみをとめない～変わる学校に新たな価値を創造する学校事務～ 会長 土井 裕子

早川さんから会長職を引き継ぎました、守山特別支援学校の土井です。  
今年度の名事研は、事業計画にもあるように、「会員同士の情報共有」「学ぶ機会」を大切にして、各部局が事業を企画・実施する予定です。

研究部では、「今後の学校事務職員の育成に関する研究」、特に学校における学校事務職員の学びについて研究を行います。学校事務職員同士だけでなく、校長・教頭・教員など、学校に勤務する多様な教職員からの学びも含め、研究を行っていきます。

また、昨年度研究部が研究・発表した「調理実習から考える保護者負担軽減」については、研修部にバトンを渡し、研修会のテーマとして扱っていきます。公費・私費などの理解を深めるきっかけを作ることで、研究の続きを会員の皆さまにも考えていただくことができると考えます。

情報部では、会員の学びのきっかけにつながるような情報提供を充実させることを目指します。

そして、例年2月ごろに開催している研究大会については、運営について負担減を目指しつつも、充実した内容になるよう、事務局で検討をすすめていきます。

今年度、名事研の活動が、少しでも学校現場の皆さまの力になればと思います。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



## 講演会 定期総会



5月22日(水)に名古屋市教育センターで講演会及び令和6年度の定期総会が行われました。講演会では、名古屋市教育委員会 総務部 企画経理課 課長補佐の長坂雄也氏を講師に招き、「第4期名古屋市教育振興基本計画(コンパスぷらん)」をテーマにお話がありました。始めに現在名古屋の教育に求められていることやコンパスぷらんが導入された経緯や背景について話されました。そして、コンパスぷらんの概要やその方向性、目指したい姿等について話がありました。学校事務に関することの一例としては、学校における働き方改革の推進として、共同学校事務室制の導入があがっているとのことでした。学校事務職員の方々には、様々な事業がコンパスぷらんのもとに実施されていることを理解し、日常の教育活動や業務に役立ててほしいとのお言葉をいただきました。

定期総会では令和5年度事業・決算報告、令和6年度の役員等承認、事業・予算計画の承認がされました。定期総会の始めには新規採用者のあいさつが行われ、今年度は16名の仲間が新たに加わってくれました。



# 専 門 部 紹 介

## 事務局

事務局次長 鈴木 俊太

事務局では、名事研が活発かつ円滑な活動を行うため、会の運営や調整をしています。主に事業計画の策定や研究大会の運営、学校事務職員名簿等の発行物の作成、内外組織との連絡調整や連携を担っています。

今年度は、世話係会及び総会で検討・承認いただいた『これからの名事研のあり方』の方針に基づき、名事研組織の運営や研究大会の企画を進めてまいります。また、引き続き、持続可能な組織体制についても検討を進め、会員一人ひとりがやりがいをもって研究会活動に関わることができる組織となれるよう、ぜひ積極的にご意見をお聞かせください。

皆さまのご協力をお願いいたします。

## 研修部

研修部長 辻 知弥

研修部では、全会員を対象とした全体研修会や、受講希望者を対象とした小規模研修会「事務—Gym(じむじむ)」といった、参集して行う研修会の企画・運営のほか、名事研HP等で公開する自主研修資料の作成・更新を通して、学校事務職員の資質向上のサポートを行います。

もっとよい知識やアイデアを職員に提供したい、学校が抱える課題を解決する力になりたい、もっと効率よく仕事がしたい。でも一人で自己研鑽する時間が取れない。そんな時はぜひ研修部の企画する研修会や自主研修資料に触れてみてください。

現場で活かすことのできる研修を企画していきたいと考えています。皆さまの積極的な参加をお待ちしています。

## 研究部

研究部長 森 哲平

研究部では、名古屋の学校事務職員の成長について研究を行います。皆さまがこれまで仕事をしてきた中で、「成長したな」と感じたのはどのような瞬間でしょうか？今後、自分自身でどのように成長していきたいと考えているでしょうか？さらに、他者からはどのように成長して欲しいと思われるのでしょうか？

様々な先行研究や、学校における実践事例などを収集・分析し、名古屋の学校事務職員に求められる能力、そしてそれを培っていく方法について検討します。

学校現場で働く学校事務職員ならではの資質・能力形成について考えていきますので、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

## 情報部

情報部長 松葉 篤典

情報部と聞いてどんなことを想像しますか？何か情報収集して怪しいことをしているのではないかとか、情報を活かし画期的な提案をしているところとかいろいろと想像してしまいそうですね。もともとは広報部という部だったのですが、情報調査も携わるようになって、部の名前も情報部になったと歴代の先輩方からお聞きしました。

情報部では、広報活動として名事研ニュース、広報誌「じむけん!」の発行、HPの更新などを行っています。また「すいすい予算管理」などの事務処理に役立つツールを作成したり、会員に対して情報調査を行い、各学校での事務の実情を分析するなど多岐に渡って活動を行っています。

情報部は、名古屋の学校事務職員がより良い仕事を行っていくため支援をしていく部局です！